



贅
の

NIE NO MORI

木
林

[R18]
— FOR —
ADULT
ONLY
[]







ここが本にあった
森の主様の祠…

ここなら…

僕の村を
救えるの
かな…

僕が生まれ育った
村には生贄という
風習があった

ヒュウッ…



ただ、森の主様は生贄たちの
命を奪ったりはしなかった

半月ほど経てば村へ
帰されていたらしい

空腹でもなく
服も綺麗なままで…

ただ祠での記憶は
一切ないという

そんな不思議な風習を
長年行ってきたらしい
のだけれど…

何でも村の子供を数人、
山の祠に毎年捧げていた
らしい



それを知ったのは今朝、
おじい様の書斎で





生贄の人間が
現れない今――

だがそれも
昔の話

言う通り
わしは森の主と
呼ばれていた

朽ち果てる運命
を受け入れ
その時を待つて
いた…だが、



よく
来たな…

!!



木から変な
ものが…

滑滑と光つて
ナメクジみたい

このグロテスク
な生き物が…
森の主様…!?



おおかた村を
救う為にやつて
きたのだろう？

ならばお前には
今後しばらく
生贄の役目を
担ってもらおう



嬉しや…
またこうして
若い人間が
やつてくるとは

スル…ミツ



この体なら
きつと質の良い
子をたくさん
産めるだろう

40...

40...

子...?

産む...?

そう
森の生命力

人間の言葉なら
精霊が最も近い
存在だろうな

ふむ...
感度も
悪くない



あつあつ
あのッ...
主様...?!

ああ
何という
瑞々しい肌
生命力に
溢れている



少し吸った
だけでもう
こんなにして

おや
おや



おとろろ

無垢な体の
ようで随分と
いやらしい
気に入ったぞ



産ませた後は
一切の記憶を消して
村へ帰していたから

書物にも
詳しい内容は記載
されていなかった
だろう?

森の均衡を保つ為、
子を産ませる生贄が
必要だった

あッ

はッ

んッ
はッ





どうした？
休んでいる暇
などないぞ



まあいい…
勝手に始めさ
せてもらおう

あッ



…ん？
雄の子供
だったか

は、はい…
ダメ…で
しょうか？

なに、
問題ない

雄の方が
丈夫で
扱いやすい

ズルッ
ズルッ



ズルッ

さあ、ここが
種付け部屋だ

ズルッ



身に着けていた布は
今後不要ゆえ処分
させてもらったぞ



よし
次だ

お前の体を
出産用に
作り変える

たっぷり注げば
妊娠中の負担を
減らせる

お前の体は大事に
使いたいからな…

あ…
ありがとう
ございます
…♡

今からこれで
お前の体内を
拡張し、
卵の栄養素を
たっぷり
流し込む

こんな太いの
入らないのに…

僕のアソコが
ずっとヒクヒク
疼いてて…
まるで…

ずっと前から主様に
犯されるのを待つて
いたみたいにな…♡

既にこんなに
蕩けて…

なんと愛らしい
蕾だろうか

今可愛がつて
やるぞ…♡

「これも…
主様の樹液
のせい…?」

はッ

はッ

イッポロ♡

!!

はッ

はッ
あッ

はッ
あッ

ヒクヒク

ちゅぽ♡
ちゅぽ♡
ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

あッ

ブルブル

ブルブル

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ

ガッ!!

なんと…
これ程きつく
吸いついてくる穴は
初めてだ

毛ポッ
毛ポッ
毛ポッ
毛ポッ
毛ポッ

ガッ
ガッ

深ッ…♡
「奥に奥」
までっ…♡

奥の
せまい所…
容赦なく
ゴリゴリと
くるっ…♡

あッ

これは期待が
できそうだ

ちゃんぽ
ブルブル喜んで
可愛い奴め♡

強制的にっ…

ブルブル

気持ちよく
される…♡



少々出しすぎて
しまったな...

ぽっかり開いた
穴が丸見えだぞ♡
良い眺めだ♡

はぁ...♡
はぁ...♡
はぁ...♡

はぁ...♡
はぁ...♡

はぁ...♡

さつきから
いくの
止まらない...♡

僕の
おちんちん...
バカになっちゃった...♡

休むのは
まだ早いぞ
これからが本番
なのだからな

準備は
済んだ

では
早速—

子を孕んで
貰うとするか

子も早くお前の中に
入りたそうだぞ
出口に集まって産卵管が
張り裂けんばかりだ...♡

トロ—

ズンッ!!

んあ？

あッ
ンッ
ンッ

中は温かくて
トロトロ...

苗床として
申し分ない

ニギッ
ニギッ

ホコン

この中なら
卵も立派に
育つだろう

ブリュ
ブリュ
ブリュ

ホリ
ホリ
ユリ

ヌチッ...♡

入る入る♡
卵がみるみる
入っていくぞ♡

ブリュ
ホッ

こんなに
具合の良い
苗床は初めてだ

これはもう
手放せぬ...♡

ムム



数百年ぶりの
種付けのなんと
甘美なことか…

そんなに蕩けた顔を
されてはもつと念入りに
種付けしたくなるでは
ないか…♡

腹がこんなに
膨らんでもまだ
締め付けおって
まだ孕み足り
ないのか？♡

心配せずとも
奥の奥までしつかり
流し込んでやるぞ

ががが♡
ががが♡

ががが…♡

ががが…♡

ががが♡
ががが♡

ががが♡
ががが♡

ががが♡
ががが♡

ががが♡
ががが♡



それから
毎日

主様は僕を
犯し続けた

ダメですッ…
主様…

まだ産まれて
いないのに…

なあに
ただの確認だ

スリスリ

腹の中の栄養素が
少なくなっておる
かもしれん

どれ
見せてみる

おっパ
あ
カッ

なんだ…
まだ残って
おったな

では漏れた分を
補給してやろう

いつ
いけません…

トロオ…♡

赤ちゃん
に…

赤ちゃんに
当たってしまい
ますッ…!!

直腸にこびり付いて
離れない特濃液を
今くれてやるぞッ♡

ぬも♡

突

ふう…

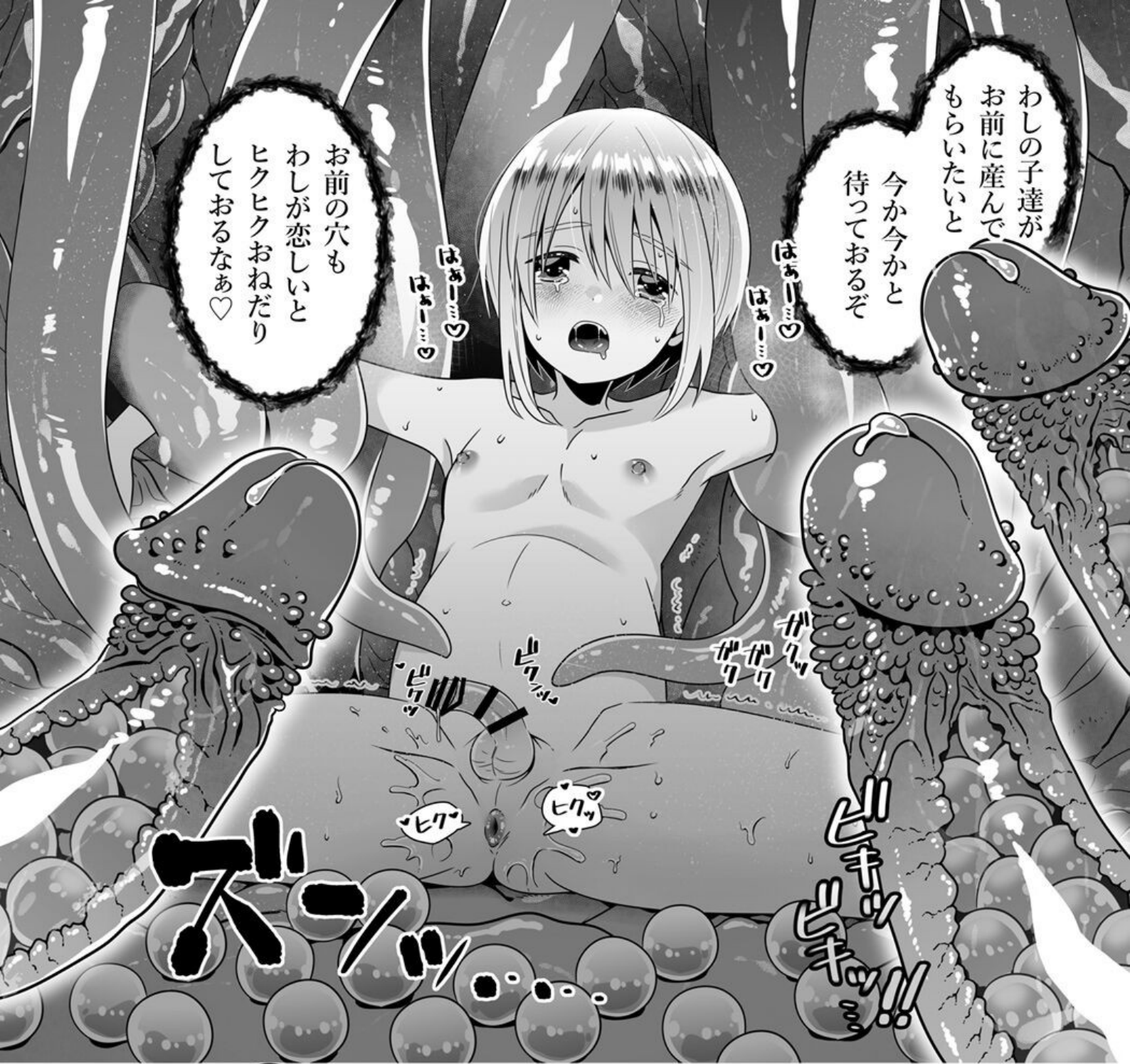
お前もこれを
飲んで今日は
もう休め

明日また
栄養素をたっぷり
注いでやる…♡

主様の樹液を
飲めば飲むほど
頭がバカになつて…

久々の子作りで
つい熱が入って
しまうな…
腹が裂けるほど
注いでしまう
ところであつた

お腹の卵のこと
しか考えられなく
なっていく…



わしの子達がお前に産んでもらいたいと

今か今かと待つておるぞ

はぁー♡

はぁー♡

はぁー♡
はぁー♡

お前の穴もわしが恋しいとヒクヒクおねだりしておるなあ♡

ズーッ...

ビキッ
ビキッ!!



...はい♡
僕...
頑張ります♡

ハク♡
シク♡

はぁ♡
はぁ♡

主様との
赤ちゃん♡

まだまだ
たくさん♡

孕ませて
ください♡

はぁ♡



主様の為に僕、
いっぱいいっぱい
赤ちゃん産みます…♡

あはっ♡
あはっ♡

はぁー♡
はぁー♡

はぁー♡
はぁー♡

だから
もっともっと♡

僕のお腹、
赤ちゃんでいっぱい
してください…♡

もっ♡
もっ♡

はぁ♡
はぁ♡

はぁ♡
はぁ♡

あっ♡
もっ♡

アホッ♡
プリュリュ
リュ〜♡

END

あとがき

ここまでお読みいただき、誠にありがとうございます。
因習・ショタ・触手・産卵と好きなワード全部入れました。
お楽しみいただけたら幸いです。

当初は少年二人の予定でした。
機会があれば、消えたもう一人の子の話も描きたいです。

他にも描きたい話はたくさんあるので
今後も頑張って少しずつ形にしていけたらなと思っております。

2021 Dec. 夏ジャム

贅の森

NIE NO MORI



Natu jam 2021.Dec.